

川田 隆雄

KAWATA Takao

教授



【現在の専門分野】

プロデュース学、メディア教育、教育工学、情報処理

【現在の研究テーマ】

メディア教育

【学 位】言語文化修士（大阪大学）

【所属学会】教育工学会、プロデューステクノロジー開発センター

情報メディア学科

■ 主要研究実績

(論文) プロデュース・テクノロジーの創成

プロジェクト主義教育による人材育成	同志社大学	2006年
プロデューサーの特質抽出のための方法論の研究	プロデューステクノロジー 開発センター	2009年
ビジネス創造の現場に流れ込む社会構成員主義の潮流—プロデューサー型人材の考察から— (共著)	日本ベンチャー学会誌「ベンチャーレビュー」	2010年

(学会発表) プロデュース・テクノロジーの理論研究～新AFチャートと概念装置について～プロデューステクノロジー開発センター プロデュース能力研究会

同志社大学	2007年	
博物館で利用可能なIndoor Navigationシステムの検討	日本教育工学会第23回全国大会 講演論文集 早稲田大学	2007年

(その他) 現代的教育ニーズ取組支援プログラム プロデュース・テクノロジーの創成 (同志社大学) 理論部会責任者

2004年～2008年		
e-ラーニング生涯学習講座「胎内からのメッセージ (快慶の遺作)」企画/e-ラーニングアドバイザー	城陽市	2005年

e-ラーニング生涯学習講座「宇治川物語」企画/e-ラーニングアドバイザー

宇治市	2006年	
e-ラーニング生涯学習講座「山城古道」企画/e-ラーニングアドバイザー	城陽市	2006年

■ 研究・社会活動等

文部省・メディア教育開発センター (共同研究員)	2000年～2001年
佛光大学総合研究所 (客員研究員)	2001年
京都府生涯学習高度情報推進プロジェクト (委員長)	2003年～現在

■ 主要な担当授業科目

[大 学] 情報メディア演習、プレゼンテーション技法、情報ビジネス起業論、メディア教育論、プロデュース論Aなど

最新技術を使ったメディア戦略を企画する

川田研究室ではプロデュース学を主な専門としていますが、現代社会に次々と登場する多様なメディアの総合的な研究、開発も同時に行っています。社会の実用に耐える研究や作品制作を目指して学生の指導が行われることもあります。例えば、テレビ番組制作の演習の成果は「テレビ大阪」で30分番組として放映されました。また、インターネットや印刷媒体などを総合的に研究している学生たちは実際に企業や商店のメディア戦略のコンサルタントに参加しています。

具体的には奈良県にあるフランス料理



ホームページ <http://www.geocities.jp/mf3388/>



フライヤー

店のメディア戦略を総合的に監修し、ホームページの制作及び開設、フライヤー・季節のグリーティングカード・ポイントカードなどの制作を一括して引き受けています。また、京都の衣料メーカーと提携して、最新のメディア技術を使ったファッションショーの企画などを行ったことがあります。川田研究室では

若い女性の感性とメディアの最新技術を融合し社会に具体的に貢献することを目指しています。



グリーティングカード



ポイントカード (裏)



ポイントカード (表)